ＤＪ－Ｘ８１ファームウエア Ver002 のエキスパート・モードについて

（エキスパート・モードについては説明書Ｐ．６２も合わせてお読みください。）

ＶＦＯモードでＦＵＮＣキーを長押ししてキーロック状態にして、そのまま引き続きＦＵＮＣキーを６回押すとエキスパート・モードとなり、セットモードのサブメニューに説明書には書かれていない項目が追加されます。以下、その機能についてご説明します。

＊[ ]内のパラメータが初期値です。

＊DJ-X81 液晶上のアルファベット表示は通常のフォントでは表せないため、本書ではなるべく似たように見える文字で置き換えています。

＊説明書に書かれている項目は、ここには記載していません。

①メインメニュー[DISP]表示設定：

・ **SCnLnP [OFF] / ON**

スキャン中、スキャンが止まって受信している間、液晶の照明を点灯させたいときはＯＮにします。通常より多く電池を消耗しますが、暗い場所での受信には便利です。

・ **bSdisp [SET]/ RUN**

バッテリーセーブの BS アイコンを、ＢＳ機能が実際に働いているときだけ表示させたいときは RUN を選びます。この機能をＲＵＮにすると、スキャン中などＢＳが動いていないときはＢＳアイコンが消えます。車や家電の「エコモード表示」にヒントを得たパラメータです。

・ **GrEEn [ON]/OFF**

スケルチが開いたときに光る緑のＬＥＤを常に消したいときは OFF にします。放送を聞くなど長い時間ＬＥＤが点灯したままになるときは、ＯＦＦにすると僅かでもバッテリー消費を少なくすることができます。

・ **TurSSi [OFF]/ON**

地デジＴＶ音声受信中に表示される時計の代わりに、地デジの受信信号強度を表す RSSI 値を-72.500 のように表示します。マイナスの後ろの数字が小さいほど信号が強いことを表します。

②メインメニュー[POW]電源設定：

・ **CHGtin [10]～1**

充電時間のタイマーを初期値よりも短縮したいときに使います。通常は変更する必要はありませんが、本来ニッケル水素電池には好ましくない継ぎ足し充電を敢えてひんぱんに行うユーザーの場合、１０時間のタイマーでは過充電気味になることがあります。これを意識的に管理できるような上級ユーザー向けに設けた項目です。

・ **Po Mng [BATT]/DC, AUTO**

ノートパソコンのパワーマネージメントにヒントを得た設定です。ＡＣ電源で使うときは電流消費を気にせず、電池で使うときはなるべく節電した設定を自動で切り替えられます。

[BATT] バッテリー使用時を念頭に BS,LAMP,SCAN-LAMP,BEEP,GREEN 設定をして、それを常時使う。

[DC] 外部 DC 電源使用時を念頭に編集した同じ５項目のＤＣ設定を常時使う。

[AUTO] 外部ＤＣ端子、または充電器使用時は[DC]、電池使用時は[BATT]を自動的に切り換える。

設定方法：

＊バッテリーセーブ：ＦＵＮＣキーを押してから８キーを押し、もう一度８キーを押すと bS dC が表示されます。その状態で通常のＢＳ選択と同じ操作をして、ＤＣモード時に使いたい設定をします。

＊ランプ点灯、スキャン時のランプ点灯、受信時の緑ＬＥＤ点灯はセットモードの＜ＤＩＳＰ＞，ビープ音は＜ＳＮＤ＞に、それぞれ LnP dC、SCLP dC、Grn dC、bP dC の項目が表示され、そこで設定した状態がＤＣモード時に動作します。

・ **bAtt / 数値＝常に電池電圧を表示**

バッテリー電圧の目安を表示しますが、個体によるバラツキや電圧の測定場所が電池端子では無いことから、テスターのような精度で電池電圧を表示することはできません。この機能は、表示をこまめに見ていただくことで「僕のＸ８１は電圧が＊＊Ｖ表示になったら要注意、そろそろ充電しないと…」のように、「経験値による減電池表示」としてお使い頂くために搭載しました。

<u>③メインメニュー[Ｒｘ]受信設定：</u>

・ **AbAr [ON]/OFF　ＯＦＦは内蔵 AM 放送受信用バーアンテナを使わない**

・ **SbAr [ON]/OFF　ＯＦＦは内蔵短波放送受信用バーアンテナを使わない**

※　通常はＯＮにしておいてください。中波、短波用外部アンテナをＳＭＡアンテナ端子に接続するときだけＯＦＦにしてください。

・ **PrESEt [AFTM]/表示無し、Ａ，Ｆ…他全１６通り**

プリセットモードで聞きたいバンドの組み合わせが選べます。ＡはＡＭ放送、ＦはＦＭ放送、ＴはＴＶ音声、ＭはＶＨＦマリンチャンネルです。例えば内陸のユーザーはマリンバンドを日常聞くことができないので、AFT を選ぶことでマリンバンドを隠せます。プリセットモード自体を使わないときは、何も表示されない状態を選んでください。

・　59L Ct [OFF]/ SMT-1 ～ SMT-6, SQL

スケルチとＳメーターを使ったカウンター機能です。スケルチが１秒以上開くか、設定したＳメーター表示以上の強さの信号が１秒以上受信されると受信画面右上に表示されるＳＣ－００１から始まるカウンターに計数値が表示されます。

＊　９９９回を越えると１から再カウントされます。

＊　バタツキ防止として１秒のウエイトを置いていますので、短い間隔で信号のオンオフがあってもカウントされません。（１秒以上連続でOFFの状態が続いた後、１秒以上連続でONの状態が続いたら１カウントされます。例えば0.8秒ごとにON / OFFを繰り返しても、カウントはされません）

＊　この機能を動作させると、電源を切るまでカウントを続けます。0に戻すには電源を入れ直してください。

＊　周波数を変更してもリセットされず、カウント値は継続します。一時停止したい場合はＦＵＮＣキーを押して、Ｆアイコン点灯時に数字キー１を長押しします。同様の操作で再開します。一時停止中はハイフンが消えてSC 001のように表示されます。

ご注意：Ｓメーターやスケルチの工場調整値のバラツキ等により、同じ場所で同様の設定をしたDJ-X81を使って同じ周波数を計数しても数値がばらつくことがあります。カウンター値はあくまで目安としてお使いください。

④メインメニュー[MRN]国際ＶＨＦの設定：

・　16HLD [PUSH]/HOLD

プリセットモードでマリンバンドを受信中、チャンネルにかかわらずドットキーを押している間１６ｃｈを受信できますが、ドットキーを一度押すと１６ｃｈ受信、もう一度押すと解除、にしたいときはＨＯＬＤを選びます。ドットキーを押して１６ｃｈホールドを解除しないとダイヤルを回してもチャンネルが変わらないのでご注意ください。

⑤メインメニュー[KEY]キー操作設定：

・　UP-dn [DISABL]/ENABLE

ENT/VPMをアップキー、ダウンキーに割り当てたいときはENABLEを選びます。周波数の上下などに、ダイヤルやキー入力ではなく、どうしてもアップダウンキーの操作感が欲しい、という声にお応えしたものです。ＶＰＭ切り替えは、ＶＰＭボタンを押しながらダイヤルを回すことで行えます。バンド切り替えは、ＥＮＴボタンを押しながらダイヤルを回してください。

・　SEtnod [MANUAL]/5～25SEC

初期値のＭＡＮＵＡＬ状態では、手動でＦＵＮＣキーを押すまでセットモード状態を保持しますが、自動で設定を確定してセットモードから抜けるようにできます。キー操作

をしなくなってからセットモードを抜けるまでの時間を５～２５秒から選べます。

・ **bAnd [ACROSS]/ROTATE**

スキャン中、VFO モードのバンドエッジまでくると次のバンド区分へそのまま移動するか、バンド内でスキャンするかを選べます。後者を選ぶときはＲＯＴＡＴＥにします。例えばＶＨＦエアバンドの帯域だけをＶＦＯスキャンしたい、というようなときに便利です。

・ **LCtinE [2-SEC]/500ms～3-SEC**

キーロックを掛けるためにＦＵＮＣキーを長押しする時間を 0.5～３秒の間で変えられます。初期値は２秒です。

・ **rEuErS[ON]/OFF**

デフォルトでは、ダイヤルとリングは時計方向の回転で値が大きくなりますが、反時計方向で大きくなるようにしたいときはＯＮにします。初期値はＯＦＦです。

・ **dial [FR VOL]/FR SQL, VOL SQ**

ダイヤルとリングの役目を変えられます。

[FR VOL]ダイヤルが周波数、リングが音量、ダイヤルワンプッシュでスケルチ(初期値)

[FR SQL]ダイヤルが周波数、リングがスケルチ、ワンプッシュで音量

[VOL SQ]ダイヤルが音量、リングがスケルチ、ワンプッシュで周波数

⑥メインメニュー[ＭＲ]メモリー設定：

・ **dUP-At [ON]/OFF**

クイックメモリーバンク（ＡＴバンク）に、同じ周波数を重複して書き込むことを初期値では可能にしていますが、重複登録させないようにしたければＯＦＦを選びます。

⑥メインメニュー[ＥＷＳ]ＥＷＳ動作設定：

・ **HAPPEn [PRE FM]/PRE TV、PLS-9、BANK00**

EWS・ＥＥＷ受信時、起動させるバンドを指定できます。

[PRE FM]プリセットモードの FM ラジオ(初期値)

[PRE TV]プリセットモードのワンセグＴＶ受信モード

[PSL-9]PS リンクの grp-9。予めサーチしたいプログラムスキャンの周波数ペアをグループ番号９にセットしておきます。セットしていないと動作しません。

[BANK00]メモリーモードの任意のバンク。この状態で ENT キーを押すか、ENT を押しながらダイヤルを回すことで起動するバンクを選択できます。

＊サーチパスと盗聴器発見機能メモリー（ＢＵＧ）バンクはここでは使う意味が無いと思われるので、選択出来ないようにしています。

⑦メインメニュー[ＳＮＤ]音設定：

・ **PoPCUt [OFF]/ON**

　Ｏｎを選ぶとキー操作やスケルチが閉じるとき、プツッという音（ポップ音）が鳴るのを軽減できます。オーディオアンプ回路を常にＯＮにした状態になるので、無音時にサーというバックノイズが乗るのとバッテリー消費が増えるので、実用にはお勧めできない設定です。実験的に採用しましたが、通常はオフでお使いください。

【操作の追加説明：地デジ TV 放送チャンネルの手動割り当て】

レシーバーを使いこなす上級レベル・ユーザーの「地デジ TV の物理チャンネル（実際に TV 放送が送信されている周波数の番号）を自分で手動設定したい」というニーズお応えするため、地域設定・SEARCH 設定の他に手動でも編集ができるようになっています。

・物理チャンネルの手動設定

１：プリセットモードで地デジ TV 音声受信を選択する。
２：FUNC キーを押し、F アイコンが点灯しているときに V/P/M キーを長押しする。
３：Tv Mod と数字が表示されたらダイヤルを回して 13-52 を選択する。
４：再度 V/P/M を長押しすると物理チャンネル選択モードになる。
５：通常のリモコン ID モードに戻るには 1-12 を選択して、V/P/M キーを長押しする。

編集は FUNC キーを押し、F アイコンが点灯しているときに NAME キーを長押しします。
左の部分がリモコン ID（通常一般に TV のチャンネルと認識している番号）で、ダイヤルを回すと変更できます。
右の部分がリモコン ID に割当てられている物理チャンネルで、リングを回すと変更できます。物理チャンネルに–と表示されるものを選べば、そのリモコン ID には割当なしとなります。編集を確定して終了するには NAME キーを長押しします。編集を破棄して終了したい場合は FUNC キーを押します。

この手動設定はメモリーできません。通常の地域指定か SEARCH 設定を行うと、手動設定は自動的に消去されます。

以上

アルインコ（株）電子事業部